

唐工ニュー人



佐賀県立唐津工業高等学校

〒847-0832 佐賀県唐津市石志字中ノ尾3072番1

TEL 0955-78-1155 FAX 0955-70-3021

https://www.education.saga.jp/hp/karatsukougyoukoku/



令和7年
12月1日発行
第349号

競うことから生まれるもの

特別活動部主任 吉原 彰宏

2025年も師走を迎え、早いもので2学期もあと少しで終わろうとしています。本校最大のイベントである唐工祭も、盛況のうちに終えることができました。皆さんが見せてくれた熱意と気迫あふれる姿——私も本校に赴任して5年目になりますが、これまで見てきた中で一番良い大会になったのではないかと感じています。

総合優勝を果たした機械科の皆さん、喜びもひとしおだったことでしょう。そして、一歩及ばず悔しい思いをした生徒も多いと思います。勝負の世界なので勝ち負けは必ずつきませんが、そこで感じる喜びも悔しさも本気で取り組んだ証——それを感じられることに意味があります。今大会の生徒諸君の姿を見て、全員が本気で競うからこそ、体育大会の意義があり、本気で競い合ってはじめて生まれるものがあると改めて感じました。

生徒の皆さんは、日々部活動などで自分を鍛え、勝負の場に臨んでは勝って喜んだり、涙が出るほど悔しい思いをしたりしていると思います。私自身、競技に携わる者として皆さんに伝えたいことは、ライバルとの競い合いによって生まれる価値です。競い合いが生み出すものは、単なる勝敗ではありません。時に、敗北の悔しさを味わうこともあります。しかし、その悔しい気持ちが自分の課題を明確にし、現状に満足しない向上心と困難に打ち勝つ強い意志を生み出す力になります。また、相手が本気で挑んでくるからこそ負けられないという熱が互いのベストパフォーマンスにつながり、個人と集団をさらに成長させる——この競い合いの精神こそが、限界を突破するカギになるのです。

工業高校で学ぶ皆さんが将来挑むのは、常に新しいアイデアや高い品質を求められる競争社会。世界と、そして時間と競い合う場です。自分の限界を決めつけずに高みを目指し、次に何が必要かを考えて競い合う精神こそ、技術者を目指す皆さんにとって重要な資質だと思います。

「無理はできる間にしかできない。できる限り無理をしながら翔平にしか描けない時代を築いてほしい。」

日米プロ野球界のレジェンド、イチロー選手が、大谷翔平選手に寄せたコメントです。この言葉は、アスリートとしての活動期間が限られていることや後悔しない為に努力する重要性を伝えています。高校生の今だからこそできる成長というのが必ずあります。クラスメイトや部活動の仲間と本気で競って自分を高める——それができるのが、この唐津工業高校という場所であり、この場所で過ごす3年間なのではないでしょうか。

令和7年12月号

12月

1月

行事は変更することがあります。ご了承下さい。

日曜時	学 校 行 事	日曜	学 校 行 事
1 月 D	期末考査	1 木	元旦
2 火 D		2 金	
3 水 D		3 土	
4 木 D	健康診断(マラソン大会、修学旅行) マイスター派遣(建築)	4 日	
5 金 平	HR(生徒会役員任命式、授業アンケート) 進路説明会事前指導(2年:⑤)	5 月	
6 土	マイスター派遣(建築)	6 火	
7 日	九電マルシェ(4科)	7 水	
8 月 平	2年生進路説明会(PM,文化体)	8 木	始業式 大掃除 頭髪服装検査 マイスター派遣(建築)
9 火 C	マラソン練習 工業系高校学習成果発表会(有工)	9 金	HR(1年:学年集会 2年:結団式 3年:キャリアパス)
10 水 C	HT ⑪	10 土	
11 木 C	唐津特別支援学校との交流会(AM)	11 日	
12 金 特	全校マラソン大会 パソコン利用技術検定	12 月	成人の日
13 土	第二種電気工事士(技能)	13 火	修学旅行
14 日		14 水	
15 月 平	マラソン予備日	15 木	
16 火 平	献血(3年・職員)終日	16 金	HR(1クラス扱い 3赴任心得) SC(PM)
17 水 特C	三者面談 HR(1,2年人権同和教育) 外部講師(デ1①②③視聴覚) HT ⑫	17 土	
18 木 特C	HR(1,2年:キャリアパス 3年:クラス扱い) 外部講師(デ1②③④) マイスター派遣(建築) SC(AM)	18 日	
19 金 特C	③④がん教育講演会	19 月	HR(2年修学旅行アンケート)
20 土		20 火	
21 日		21 水	生徒保健委員会 HT ⑬
22 月 特B	③④佐賀誇り講演 女子高生と女性技術者との交流会(PM)	22 木	
23 火 特B	①企業連携出前授業(9:00～9:50)	23 金	HR(進路体験発表会) 3年学年末考査 情報技術検定(デ1)
24 水 特	大掃除・表彰・終業式	24 土	
25 木	冬季休業	25 日	
26 金		26 月	工場見学(※終日)
27 土		27 火	
28 日		28 水	
29 月		29 木	課研発表会(機械、建築) SC(PM)
30 火		30 金	HR(1,2年:キャリアアンケート、要録調査) 課研発表会(電気、土木)
31 水		31 土	

HT:ヒューマントレーニング SC:スクールカウンセラー来校 キ:機械科 デ:電気科 ド:土木科 ケ:建築科 ⑤:建築科マイスター派遣事業

令和7年12月号

○令和7年度 マイコンカーラリー佐賀県大会

9月27日(土)、佐賀工業高校において開催された令和7年度マイコンカーラリー佐賀県大会に本校から電気科3年の石橋大成さん、今吉来夢さん、田中伊織さん、平野滉英さん、前川颯伸さんの5人が出場しました。マイコンカーラリーは高速走行のための改造ができるアドバンスド部門とある程度の改造が制約されるベーシック部門があります。去る8月にSAGA サブアリーナで開催されたマイコンカーラリーは、九州大会開催前のプレイベントとして、エキシビション的な大会でしたが、今回の大会は九州大会への出場権をかけた大会となります。本校からの5名はベーシック部門に出場し、田中伊織さんが7位に入賞し、九州大会への出場権を獲得しました。今年度の九州大会は11月15日(土)から16日(日)の両日、佐賀市で開催されました。



○建築科によるJR九州へのミニトレイン寄贈式

令和7年9月30日(火)に建築科木造実習室に於いて、JR九州へのミニトレインの贈呈式を実施しました。年度当初に、JR九州より「イベントで使用するミニトレインを作ってもらえないか」との製作依頼があり、建築科3年生8名(上田、上野、浦田、川崎、小島、瀬戸、松岡、馬渡)が、青木先生の指導のもと、課題研究の授業の中で製作に当たっていました。5月の本格的な授業開始時から案を練り、筑肥線や唐津線で現在運行されている列車のデザインを参考に仕上げ、計2台のミニトレインを完成させました。また、イベント時に活用できる木製ベンチ2脚をサプライズで製作し、ミニトレインの寄贈とともにプレゼントしました。



○令和7年度 唐工祭「文化祭」

10月9日(木)、唐工文化祭が実施され、清々しい秋空の下、多くの来場者で賑わいました。体育館での開会式オープニングのあと、各文化部発表、2年生によるステージ発表が行われ、その後は3年生によるバザーや各文化部の展示の見学時間となりました。午後からは、3年生食品バザーや各文化部の展示や販売も盛況で、たくさんの生徒で賑わいました。また、PTA保護者会による手作りのカレー、ポップコーン、ジュースの販売が行われ、大盛況で生徒達は美味しいカレーに舌鼓を打っていました。中庭においてはバスケットボール部のダンスや有志によるステージ発表、職員バンドによる演奏などが行われ、大いに盛り上がりました。



○令和7年度 第64回 唐工祭「体育大会」

10月17日(金)、真っ青な秋晴れの下、令和7年度 第64回体育大会が開催されました。この日まで全員が一丸となり、限られた期間内でそれぞれが創意工夫をしながら一生懸命に準備を積み重ねてきました。入場行進では各団、リーダーを先頭に元気よく行進をし、澁刺とした勇姿を見せました。開会式では生徒会長 堤田壮士郎さんの「優勝を目指して、(勇猛果敢)のメインテーマのもと楽しい思い出となるようみんなで協力し、素晴らしい体育大会にしましょう。」の挨拶のあと、機械科3年 木須 一さんの「唐工祭が実施できることに感謝の意を表すと共に、仲間と協力し応援コンクールや競技に全力を出し、正々堂々戦って、唐工祭を成功させることを誓います。」と力強い選手宣誓がなされ競技が始まりました。競技では選手一人一人が優勝を目指して最後まで全力を出し、各団が一丸となって競技者に声援を送るなど、とても熱気に溢れた体育大会となりました。今年度の優勝の栄誉に輝いたのは、昨年度に引き続き機械科でした。準優勝は電気科でした。機械科の皆さんおめでとうございます。



文化祭、体育大会、ともに詳細は学校ホームページにて紹介しています。